

小矢部大火から30年 ～大火の教訓を次世代へ～

小矢部大火パネル展実施中



平成3年9月28日未明に小矢部市藤森地内で火災が発生しました。台風19号の通過と重なり、次々と飛び火し全焼29棟、部分焼6棟もの被害をもたらし、「小矢部大火」と呼ばれています。

小矢部大火から30年が経過し、この大火を知らない世代が増えてきました。この大火を風化させず、次世代へ継承するために当時の台風による気象の様子や、延焼の状況、その後の地域の取り組みについて掲載しています。

火災の恐ろしさ、自然の恐ろしさを知り、防火について考えてみませんか。

展示期間 令和3年9月28日（火）から令和4年3月31日（木）まで

展示会場 砺波地域消防組合小矢部消防署 1階玄関ホール

入場料は無料です。ご自由にご覧下さい。

感染対策として、マスクの着用をお願いします。

砺波地域消防組合小矢部消防署